

反転授業とICTを 活用した授業の現状と展望

従来の授業の多くは、「授業時間＝講義」と捉えていました。
これに対し、反転授業では

- ▶ 予習 : オンラインで講義ビデオを視聴
- ▶ 授業時間 : 演習、議論、個別指導
- ▶ 復習 : オンラインで課題を提出

のように構成し、授業時間を「対面だからこそできること」にあてます。これにより、内容の深い理解や学習達成度の向上を目指します。

反転授業や授業を活性化する道具として、ICTの利用が提唱されています。パソコンだけではなく、学生が持つ携帯電話やスマホも、その道具となり得ます。これらを用いて、主体的な学習を行う「アクティブラーニング」が実現できます。

日時

2014年**9**月**26**日(金)
15:00～16:00

場所

2号館 2-509教室

内容

- 反転授業の概要
- 反転授業を実施するための準備と授業運営
- 反転授業の効果
- ICTを授業に導入する例
- ICTによるアクティブラーニングの支援
- ICT導入の費用と効果

対象

本学教職員、院生

講師

田村恭久
上智大学情報理工学科教授



お問合せ

学事センターFD推進担当(内線3522)
E-mail: sophia_fd@cl.sophia.ac.jp
HomePage: <http://www.fd-sophia.jp>